

稲光会報

34 巻 49 号

平成 25 年 2 月 1 日発行

編集 早稲田大学稲光会

発行者 田中 一 宏

題字 滝口 宏



インカレフルール優勝の北川（3年）。五輪代表三宅（慶応）を破っての勝利。写真／早稲田スポーツ

後期、夏合宿以前に行われた全日本選手権（個人）では、主将・佐々木優（4年）が女子フルールで5位、女子エペで田村（4年）が3位入賞し、社会人に対しても地力を発揮しての活躍でした。

夏合宿後の関東学生選手権では、男子フルール団体が準決勝、決勝ともに、同点・延長1本勝負を制しての優勝、「関東リーグ」、「日本学生王座」、「関東カレッジ」と3冠を獲得しました。また、女子は、団体でフルール準優勝、エペ準優勝と健闘、フルール個人の平石（4年・準優勝）とエペ個人の山根（1年・準優勝）の活躍がありました。

そして迎えた全日本学生選手権では、先ず男子フルール個人

で北川（3年）が決勝で三宅諒（慶大4年・ロンドン五輪団体銀メダル）を破り殊勲の優勝、女子フルール個人では佐々木優が準優勝、平石3位、真所（3年）6位、女子エペでは田村3位、女子サーブルでは佐々木優8位入賞と活躍しました。また、女子団体ではフルール、エペ、サーブルの全種目準優勝と健闘しました。

続く、早慶戦では、エース・三宅を中心に必死の闘いを挑む慶応に対し、団結力の勝る早稲田が全種目勝利の完全優勝で、男女共連勝記録を伸ばしました。

そして、今期の総締めとなる全日本選手権（団体）では、学生チームとしては一番の活躍となりました。初日の女子フルールが宿敵・日大を破り、優勝したネクススには敗れましたが、3位決定戦で強豪・岐阜クラブを破り、3位入賞と勢いをつけてくれました。2日目の男子フルールも中大、日大そして古豪・和歌

山クラブを倒して決勝進出、警視庁に敗れましたが、準優勝と健闘してくれました。そして最終日、優勝チャンスありの女子エペ陣が必死に勝ち進み、日体大との決勝対決となりましたが、無念の準優勝でした。しかし、今期2部スタートのチームが全日本の2位という十分な活躍を見せてくれました。

大会終了後の会場で、今期の活躍で来期は他校が眼の色を変えて早稲田を倒しに来ること、そして、一番の強敵は実績に甘んじての「練習のマンネリ化」であることを全部員と確認し合いました。

今期の総括としては、部員がスポーツ科学部で学んだ知識を良く活用し、ハードな鍛錬をしっかりと継続してきたこと、そして「勝負は理屈では無い」と云う「強い心」で勝負に臨んだことが挙げられます。

今後も「日々新たなリ」の精神で、常に研究・研鑽を積むことを部員諸君に期待するところです。

個人・団体ともに躍進の後期

個人団体とも十分に力を発揮できた後期、次期主将・北川（3年）のインカレ優勝をはじめとし、男子フルール団体はリーグ戦、関カレ、学生王座の3冠を獲得した。女子は佐々木の準優勝に加え団体全種目準優勝と、あと一歩頂点に届かなかったが次年度につながる活躍を見せた。ライバルたちのタリゲットとなった早稲田の今後のさらなる成長に期待！（関連写真3面）

監督 中村立雄

後期、夏合宿以前に行われた全日本選手権（個人）では、主将・佐々木優（4年）が女子フルール

で5位、女子エペで田村（4年）が3位入賞し、社会人に対しても地力を発揮しての活躍でした。

夏合宿後の関東学生選手権では、男子フルール団体が準決勝、決勝ともに、同点・延長1本勝負を制しての優勝、「関東リーグ」、「日本学生王座」、「関東カレッジ」と3冠を獲得しました。また、女子は、団体でフルール準優勝、エペ準優勝と健闘、フルール個人の平石（4年・準優勝）とエペ個人の山根（1年・準優勝）の活躍がありました。

そして迎えた全日本学生選手権では、先ず男子フルール個人

OB便り

稲光活性化に向けて奮闘中！

昭和51年卒 赤井平二

大学を卒業後、商社に入社3年、フランスに語学研修生として派遣される機会に恵まれ、2年間フランス各地の大学付属校でフランス語を勉強する機会を頂きました。その後も、アフリカのフランス語圏の国で

の駐在を経験するなど、フランス語との関わりが深く、フランス語の上達が一生の趣味となりました。

日本に帰ってから時々、語学校（日仏学院）に通い、忘れない様にメンテナンスを

心がけています。

最近も、自宅でフランス語のテレビ放送（TV5MONDE）を見ています。今でもテレビのニュースは、7割方理解できます。

大学時代フエンシングをしていたおかげでフランスの地元のフエンシングクラブに参加でき、フランス人社会への溶け込みが早かったと、今でも稲光会フエンシング部に感

父の死、乗り越えて前進を

平成12年卒 佐々木友子（旧姓・馬淵）



平成12年度卒の馬淵友子（まぶち 旧姓・現在佐々木）です。ご無沙汰しています。

卒業後10年、就職・結婚・転勤後、現在は京都在住と人生は慌しく、以前のように自分の思うように物事は進まないと感じる事も多くなるこの頃。昨年の8月に最愛

謝しています。

昨年、稲光会役員会にて活性化委員長にご指名頂き、稲光会の活性化について何度かOBの方と食事会をさせて頂き、意見の交換をさせて頂きました。今年も、フエンシング部隆盛のために微力なりとも頑張つて参りたいと思います。稲光会OB皆様のご支援ご協力、宜しくお願い致します。

の父が突然亡くなったことも一つかと思っています。

そんな矢先、数年前から少々携わるワセダクラブの京都での団体戦の試合引率を引き受けました。小学6年女子3人、初の団体戦。緊張とお年頃が重なり各々マイペース。試合前の緊張ほぐしに「相手はカボチャだよ」つて助言したら、なぜか「トマト」になってその後3人で「トマトだよ」つてリラックスしてくれました。まずは作戦成功（？）結果は2日目に破れ、ベスト8ですが、ともかく成長は出来たかな、なんて自己満足しています。

現在仕事を通じ、あるアジアの国と関わっています。父が仕事で長くサポートしてきた東南

WASEDA CLUB

- 【第25回全国少年フエンシング大会（個人）】7月20、22日
 - ▼中学男子エペ／西沢樹 8位
- 【第7回みのわもみじカップ】10月13、14日
 - ▼小学女子高学年／黄田佳倫 3位
- 【第25回全国少年フエンシング大会（団体）】10月27、28日
 - ▼小学男子低学年／4位
 - 【船橋クリスマスカップ】12月24日
 - ▼中学女子／高木綾 6位
 - ▼佐林優 7位
 - ▼小学男子／斎藤進 3位
 - ▼今井勇樹 6位
 - ▼小学女子／黄田佳倫 3位
 - ▼山口みなみ 8位

★会費納入のお願い

部の強化の為、稲光会会費納入をお願いします。

【年会費】 1万2000円

【振込先】 みずほ銀行 日本橋支店 普通2424751 早稲田大学稲光会

※既に納入頂きました場合はご容赦ください。

アジアだからなおさら親近感が湧きます。海を越え学ぶ事も沢山あります。感謝の気持ちと笑顔忘れず、父と異国の地の教えを再び心に刻み、また一歩前進しようと考えています。

後期の戦績



【第65回全日本選手権大会】

9月7～9日

▼女子フルール個人

第5位 佐々木優（4年）

▼女子エペ個人

第3位 田村須美礼（4年）

準優勝 山根 司（1年）

▼男子フルール個人

5位 鬼澤大真（3年）

準優勝 平石典子（4年）

8位 真所美莉（3年）

▼女子サーフル個人

4位 佐々木優（4年）

6位 真所美莉（3年）

▼女子エペ個人

準優勝 山根 司（1年）

▼男子フルール個人

5位 鬼澤大真（3年）

準優勝 平石典子（4年）

8位 真所美莉（3年）

▼女子サーフル個人

4位 佐々木優（4年）

6位 真所美莉（3年）

【第64回関東学生フェンシング選手権大会】

10月11日～12日、16日～18日

▼男子フルール個人

5位 鬼澤大真（3年）

準優勝 平石典子（4年）

8位 真所美莉（3年）

▼女子サーフル個人

4位 佐々木優（4年）

6位 真所美莉（3年）

▼女子エペ個人

準優勝 山根 司（1年）

▼男子フルール個人

5位 鬼澤大真（3年）

準優勝 平石典子（4年）

8位 真所美莉（3年）

▼女子サーフル個人

4位 佐々木優（4年）

6位 真所美莉（3年）

- 早稲田大学 40-39 明治大学
- 早稲田大学 44-43 日本大学
- ▼男子サーフル団体 5位
- 早稲田大学 45-9 青山学院大学
- 早稲田大学 35-45 日本大学
- ▼男子エペ団体 5位
- 早稲田大学 45-20 東北大学
- 早稲田大学 39-45 中央大学
- ▼女子フルール団体 準優勝
- 早稲田大学 37-14 東京女子体大
- 早稲田大学 44-36 法政大学
- 早稲田大学 34-37 日本大学
- ▼女子サーフル団体 5位
- 早稲田大学 41-45 日本女子体大
- ▼女子エペ団体 準優勝
- 早稲田大学 45-35 慶応義塾大学
- 早稲田大学 45-40 法政大学
- 早稲田大学 38-30 日本大学
- 早稲田大学 36-45 日本体育大学

【全日本学生フェンシング選手権大会】

11月7～11日

▼男子フルール個人

優勝 北川隆之介（3年）

▼女子フルール個人

準優勝 佐々木優（4年）

3位 平石典子（4年）

6位 真所美莉（3年）

▼女子サーフル個人

優勝 北川隆之介（3年）

準優勝 佐々木優（4年）

3位 平石典子（4年）

6位 真所美莉（3年）

- 8位 佐々木優（4年）
- ▼女子エペ個人
- 3位 田村須美礼（4年）
- ▼男子フルール団体 6位
- 早稲田大学 45-38 慶応大学
- 早稲田大学 38-45 法政大学
- ▼男子エペ団体 11位
- 早稲田大学 36-37 立命館大学
- ▼男子サーフル団体 8位
- 早稲田大学 45-37 同志社大学
- 早稲田大学 34-45 法政大学
- ▼女子フルール個人 準優勝
- 早稲田大学 28-8 同志社大学
- 早稲田大学 45-24 専修大学
- 早稲田大学 25-42 日本大学
- ▼女子エペ団体 準優勝
- 早稲田大学 45-38 日本女子体育大学
- 早稲田大学 29-28 朝日大学
- 早稲田大学 21-29 日本体育大学
- ▼女子サーフル団体 準優勝
- 早稲田大学 45-28 同志社大学
- 早稲田大学 45-42 専修大学
- 早稲田大学 45-36 日本体育大学
- 早稲田大学 35-45 日本大学

【第65回早慶戦】

11月25日

▼男子フルール

○早稲田大学 45-33 慶応大学- ▼男子エペ
- 早稲田大学 45-33 慶応大学

- 早稲田大学 45-38 慶応大学
- ▼男子サーフル
- 早稲田大学 45-28 慶応大学
- ▼女子フルール
- 早稲田大学 45-8 慶応大学
- ▼女子エペ
- 早稲田大学 45-39 慶応大学

【第65回全日本フェンシング団体選手権大会】

12月14～16日

▼男子フルール 準優勝

○早稲田大学 45-11 山口クラブ- 早稲田大学 45-28 中央大学
- 早稲田大学 45-35 日本大学
- 早稲田大学 45-42 和歌山クラブ
- 早稲田大学 23-45 警視庁
- ▼女子フルール 3位
- 早稲田大学 45-25 山口クラブ
- 早稲田大学 45-40 日本大学
- 早稲田大学 22-45 NEXUS
- 3位決定戦
- 早稲田大学 45-40 岐阜クラブ
- 早稲田大学 44-45 FJEE選抜
- ▼女子エペ 準優勝
- 早稲田大学 45-27 青山クラブ
- 早稲田大学 33-31 岡山クラブ
- 早稲田大学 45-36 関西学院大学
- 早稲田大学 38-45 日本体育大学

おくやみ

◎堀猛先輩（昭和28年卒）
平成24年11月28日ご逝去。
美津江夫人より故人の遺志で稲光会に20万円の寄付を頂戴しました。厚く御礼申し上げます。



◎竹村晃先輩（昭和32年卒、前稲光会会長）
平成24年12月2日ご逝去。



◎吉田友久先輩（昭和41年卒）
25年1月22日ご逝去。
喜代美夫人より故人のご遺志で香典を固辞され、稲光会への寄付とさせて頂きました。厚く御礼申し上げます。



葬儀には多くの先輩方が参列されました。謹んでおくやみ申し上げます。学生諸君もすすんで葬儀の手伝いに参加してください。

力を出し切った 4年間の集大成

佐々木 優（4年・主将）

4年間の集大成として臨んだ最後のインカレは、出場した全ての女子団体種目が準優勝でした。健闘した2位も、悔やまれる2位もありましたが、インカレの舞台を築き自分たちの力を出し切ることができました。

またフルール・サーフルにおいては、4年間負け続けてきた因縁の相手にそれぞれ最後の最後で勝つことができ、エペは2部からスタートして全日本2位まで昇り詰めました。

最後まで頂点をとることはできませんでしたが、インカレや全日本を振り返ると、底力のあるチームになったなど改めて感じます。学年や男女関係なく支え合い、チーム全員で戦う早稲田でプレーできたことを本当に嬉しく思っています。日頃からご支援いただきました監督、諸先輩方、本当にありがとうございました。

今季の勝利を生かし 部を引っ張る覚悟！

北川隆之介（3年・次期主将）
この度全日本学生選手権において、優勝することが出来て大

変身していると思います。特に決勝戦ではライバルであります慶応大学の三宅選手に勝利できたことは、今後への自信に繋がりました。日本一になるということは、私が早稲田大学に入学した時からの一つの目標であり、それを達成できたのは稲光会をはじめ、監督や部員など多くの方々の支えがあったからだと思っています。

来年には最上級生の四年生になりますので、インカレ連覇を目標とすると共に、主将として部を引っ張っていききたいと思っています。これからも部員一同日々精進して参りますので応援よろしくお願ひします。

今年度稲光会の日開催

稲光会の日が10月16日道場で開催されました。今回は春のリーグ戦男女フルール・エペ・サーフルの3種目を兼ね矢口先生、大阪在住の昭和46年卒業の多河清先輩ほか多数の先輩方が出席され盛大且つ和やかな会となりました。部員の試合披露に始まり恒例のオークション、祝賀懇親会と進み、高らかに校歌を斉唱し散会となりました。本当にありがとうございました。



挑み続け 結果を出した 2012年！



関カレで真所（3年）のポイントに歓喜の女子ベンチ



関カレ女子団体、田村（4年）のアタック！



インカレ男フルール個人、優勝の北川（3年）。写真／早稲田スポーツ



早慶戦試合風景。手前北川（3年）奥は三宅（慶応4年）